

# わが町の文化財

25

織田信長の子孫が執政した丹波柏原は山あいの小さな城下町。重厚な門構えが残る陣屋のすぐそばで、明るい洋館が目を引く。文明開化の世に建てられた旧氷上高等小学校校舎で、今も「たんば黎明館」として現役。フレンチレストランやカフェが入る町の顔として存在感を見せる。

明治18（1885）年建立の木造2階建て、寄せ棟造り。下見板張りの外装、彫刻入りの円柱、天井の高い内装。旧氷上郡内最初の小学校には随所に趣向が凝らされ、今も明治の薫りが漂う。

① 「たんば黎明館」は、いつ建てられましたか？

[ ]

② 最初は、どのような建物だったのですか？

[ ]

③ その後、どのように変遷してきたのか、わかるところに線を引きましょう。

④ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

[ ]

## 丹波市 県指定 たんば黎明館（旧氷上高等小学校校舎）

# 今も漂う明治の薫り

立派なしつらえは地域の期待の証しだった。「教育は国 萌ゆ」。かつて屋根裏の梁に家の根底なり。学校は教育の打ち付けられていた棟札にあるために、学問に希望を託したのだから。

明治の空気を随所に残す旧氷上高等小学校校舎＝丹波市柏原町柏原



郡立柏原病院、柏原高等女学校、県立柏原高校同窓会館などに変遷を経た後、2007年3月までは大手会館として、市が貸し出す施設だった。生涯学習の場として活用されていた。

地域の「学びや」が生まれ変わったのが昨年4月。耐震化の必要性もあったが、期待の魅力を守りつつ、いろいろな人が集まって何が生まれ得る場所に育てていきたい」と話す。先人が豪華な建物に託した希望、その思いは130年後も受け継がれている。



メモ 1885年、氷上郡各町村組合立小学校として建立され、翌年開校。1966年に柏原町指定文化財、2009年に県有形文化財に。まちづくり柏原会07955・73・3800

アクセス JR福知山線柏原駅から徒歩0分。

(中西幸大)